

油ゆ 団とん

かつてクーラーの役割を果たしていたと言われる『油団』の存在をご存知でしょうか。

「和紙を何枚も貼り、表面に荏胡麻えごまを塗る油団は、夏の敷物でした。表面がひんやりして気持ちいいんですよ」

日本でも数少ない油団職人は、その使用感を話します。窓を開け放ち、自然が運ぶ風を感じながら油団に寝転がれば、クーラーとは違う涼しさを感じるはず。

越前の和紙と風土、歴史から生まれた夏の実用品・油団の涼すずは、気忙しい心まで落ち着かせてくれそうです。

夏の暑さをしのぐなら、心身に気持ち良くて優しい自然の風と油団の涼。



アフターケア

毎年違う色合いに驚き。

夏に活躍する油団は毎日使い、2、3日に一度は布で拭き、オフには丸めて乾燥の良い所に保存するのが長持ちの秘訣。また年月を経るごとに白→茶→黒っぽくなり、ツヤも増し、数十年使うことができます。

製造者 / 紅屋紅陽堂
住 所 / 福井県鯖江市田村町2-10
T E L / 0778-62-1126
F A X / 0778-62-2870

平成11年3月31日指定